

# 第3回 企業メンタルヘルス アドバイザー 養成講座

主催／(社)東京精神科病院協会、NPOメンタルケア協議会

参加費無料

精神科医を始めとする医療機関スタッフを対象にした、毎年恒例の、企業のメンタルヘルスの講座です。

今年度は、うつ病治療に、入院治療を積極的に活用する必要性、及び、医療機関での心理社会的支援の重要性に焦点を当てて勉強したいと思います。

なお、午後の部は、企業の人事担当者や産業保健スタッフを対象とした「第4回企業メンタルヘルスを推進するセミナー」です。やはり「うつ病」に焦点を当てています。参加した企業の方からの質問を受けて、質疑応答を活発に行う企画にしたいと考えています。企業の現状や企業の人への対応の仕方について勉強する良い機会となると思いますので、ぜひこちらも続けてご参加いただけたらと思います。

平成22年 3月4日(木)

午前10時～午後5時

新宿住友ビルB1F 住友ホール

対象	精神科医、看護師、心理士、SW、OT等の専門職
定員	200名
参加費	無料
申込み締切	2月20日(土)(期日前でも定員になり次第締め切ります)
申込み方法	メンタルケア協議会のホームページ、 又はFAXにて
問い合わせ先	メンタルケア協議会事務局

# 第3回 養成講座

## プログラム

- 10:00～ 開会の挨拶 東京精神科病院協会副会長 山田 雄飛
- 10:05～ 座長挨拶 高月病院院長 長瀬 輝諠
- 10:10～ 講座1 「会社員のうつ病治療～入院治療効果の再評価～」  
(財)神経研究所付属晴和病院 院長 広瀬 徹也先生
- 11:00～ 講座2 「うつ病患者への心理社会的支援の重要性について」  
平成帝京大学教授 森崎 美奈子先生
- 11:40～ 講座3 パネルディスカッション
- 12:30～ …………… 昼 休 憩 ……………

## 第4回 企業メンタルヘルスを推進するセミナー

# うつの回復を早めるには

～薬物療法とそれ以外に医療機関でできること、会社の中でできること、家庭でできること～

「うつ」で休職する人の平均休職期間は7ヶ月とされています。本人にとっても、企業にとっても重大な損失です。「うつ」からの回復を早めるにはどうすれば良いのでしょうか。薬物療法は重要ですが、それだけでなく、認知行動療法などを加える、上司や同僚が対応を工夫する、産業保健スタッフが関わり方を工夫する、家族や友人が関わり方を工夫する、そして本人もセルフケアに努める……出来ることは色々あります。工夫次第で顕著に改善が進むことが珍しくありません。

- 13:30～ 開会の挨拶 東京精神科病院協会会長 松村 英幸
- 13:35～ 講演会開始 座長挨拶 平川病院院長 平川 淳一  
ひもろぎ心のクリニック院長 渡部 芳徳
- 13:40～ Part-1「うつ病治療の最前線、薬物治療とその限界、  
その他の療法との併用」  
東京女子医大教授 坂元 薫先生
- 14:40～ Part-2「復職に有効な心理社会的支援  
～会社でできること、家庭でできること」  
帝京平成大学大学院健康情報科学研究科教授  
森崎 美奈子先生
- 15:10～ …………… 休 憩 ……………
- 15:25～ Part-3「企業からの問題提起～困っていること、工夫していること」  
イオン(株)本社専属産業医 増田 将史先生
- 15:55～ Part-4 パネルディスカッション
- 16:55～ 閉会の挨拶 メンタルケア協議会理事長 羽藤 邦利

**広瀬徹也（ひろせてつや）：（財）神経研究所附属晴和病院 院長・帝京大学名誉教授**

〔略歴〕1961年東京大学医学部卒業、米海軍横須賀病院でインターン。1962年東京大学医学部精神医学教室入局、大学院入学。1966年3月大学院修了、「躁うつ病の経過に関する研究—治療との関連において」で医学博士の学位を取得。1965年財団法人神経研究所、晴和病院医員。この間日米科学協力事業・麻薬中毒研究班より6ヶ月間ニューヨークに派遣され、主としてマンハッタン州立病院で麻薬中毒の研究に従事。1971年晴和病院医長。1976年帝京大学医学部精神科助教授。1987年帝京大学医学部精神科教授就任。1994年帝京大学医学部精神科主任教授。〔公職〕厚生労働省労働保健審査会嘱託医師。厚生労働省心の健康科学研究審査会委員、日本社会精神医学会常任理事。日本精神衛生会理事長ほか多数。

〔主な著作〕「抑うつ症候群」金剛出版、「うつ病」編著 同朋舎出版「うつ病（気分障害）」共著 診療新社、「今日の精神科治療指針」共編著 星和書店、「テキスト精神医学」共編著 南山堂、「精神科ケースライブラリー 気分障害と類縁反応」共編 中山書店、「気分障害」共編著 臨床精神医学講座第4巻 中山書店、「精神療法の実践的学習」編著 星和書店、「うつ病の現在」共編著 星和書店。

**森崎美奈子（もりさきみなこ）：平成帝京大学教授**

〔略歴〕1966年東京女子大学文理学部心理学科卒業。慶應義塾大学医学部精神神経科を経て、(株)東芝本社（副参事）、ソニー(株)厚木テクノロジーセンター、本社健康開発センター（課長）を歴任。2005年帝京平成大学、同大学院教授に就任。

〔専門領域〕児童、思春期の心理療法、心理判定、母親面接、家族面接。メンタルヘルス活動の体系化（階層別教育カリキュラム策定、相談システム）、メンタルヘルス活動の企画、立案及び指導、援助。

〔主な著作〕「ストレスマネジメントにおける産業医、産業看護職、カウンセラー、管理職の役割」「職場ですすめるメンタルヘルス対策」「こころの病からの職場復帰」「職場のメンタルヘルス100のレシピ」など多数。

**坂元 薫（さかもとかおる）：東京女子医科大学教授**

〔略歴〕1956年生まれ。1982年に東京医科歯科大学医学部卒業後、東京女子医科大学神経精神科入局。旧西ドイツ・ボン大学精神科留学後、東京女子医科大学神経精神科講師、助教授を経て、2007年東京女子医科大学精神医学講座教授に就任。

〔専門領域〕気分障害（うつ病）、不安障害（パニック障害）の臨床研究、臨床精神薬理

〔主な著書〕「抗うつ薬の科学—基礎と臨床的検証」（星和書店）、「不安症の時代」（日本評論社）、「うつ病—私の出会った患者さん」（日本評論社）、「社会恐怖—人はなぜ人を恐れるか」（日本評論社）、「パニック障害—病態から治療まで」（日本評論社）、「気分障害の臨床」（星和書店）など多数。

**増田 将史（ますだまさし）：イオン株式会社 本社専属産業医**

1977年3月 大阪市生まれ

2001年3月 産業医科大学医学部卒業

2007年4月より現職

日本産業衛生学会専門医、労働衛生コンサルタント（保健衛生）

会場案内

会場 新宿住友ビルB1F 住友ホール

東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビルB1F

- 「都庁前駅」 A6出口直結(大江戸線)
- 「西新宿駅」 2番出口徒歩4分(丸ノ内線)
- 「新宿駅」 A18出口徒歩7分(丸ノ内線)
- 「新宿駅」 西口徒歩8分(JR線・小田急線・京王線)
- 「新宿駅」 7番出口徒歩9分(新宿線・大江戸線)
- 首都高速 4号線「新宿ランプ」より3分



参加申込

- お申込は下記にご記入の上、2月20日(土)までにFAXして下さい。
- 定員になり次第、締め切りとさせていただきます。(定員200人)

「第3回企業メンタルヘルスアドバイザー養成講座」

参加申込書

送信先 FAX.03-5333-6445



FAX送信方向

参加者名	職種	勤務先
ご住所 〒		TEL
		FAX
e-mail		
午後の部	第4回 企業メンタルヘルスを推進するセミナーへの参加	する ・ しない
講習会で聞きたいことやご意見をお書きください		

連絡先：NPO法人メンタルケア協議会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-55-14 セントヒルズ代々木403号

TEL03-5333-6446 FAX03-5333-6445 office@npo-jam.org http://www.npo-jam.org